

学芸会の感想

～1年生～

- ・ザリガニとタガメでぬまのギャングさまがうまくできたのがよかったです。タガメのやくをやったら、タガメがすきになりました。 穂高 豪
- ・ぶたいにでるとき、すごくたくさんおきゃくさんがいたからきんちょうしました。こんどのがくげいかいも、おもしろいといわれるげきをしたいです。 稲田 弥亜
- ・「きょうはがんばるぞ！」と、こころに五かいいいました。そうしたら、やるきがでてきてげんきがでてきて大きなこえでいえました。 板東 由加理
- ・さいしょは、あまりこえがでなくてこまっていたけれど、ちょっとずつできるようになってよかったです。おわったら、もうおわっちゃったとかなしくなりました。みんなといっしょにまた、がんばります。 藤井 シオン

～2年生～

- ・みんなと力を合わせて、げきが大せいこうして、こうぶんしてしまいました。学び会って楽しいものだなと思いました。 金泳友
- ・本ばんは、人がたくさんいてきんちょうしたけれど、みんなの声でがんばれるという気持ちが出てきました。歌やセリフが大きな声で言えて、大せいこうしたのでとてもうれしかったです。 浅沼悠果
- ・ちょっとだけまちがえていた人もいたけど、それを気にしないでみんな本気でやっていて、セリフもれんしゅうの時よりも大きい声になっていて、おどりもみんなしょうずでした。さいしょはちょっときんちょうして、「せいこうするか」とずっと思っていました。でも「ぜったいせいこうする。」という気もちもあつたのでせいこうしてよかったです。 林 枝莉花
- ・ぼくはとんぼのやくをやりました。れんしゅうをいっぱいして、本ばんでできました。ぼくは、一回目の本ばんより二回目の本ばんのほうがよかったです。リハーサルの10ばいよくできました。とてもいい学芸会になったと思いました。 丸山 剛史

～3年生～

- ・わたしは今日の学び会でときどきしました。家でもたくさん練習しました。リハーサルの時よりも声を大きく出せてよかったです。マンマミーヤのおどりはいろいろな動きが入っていて、楽しいダンスを思いつくことができてよかったです。時間どろぼうと子どもたちがせいこうしてよかったです。 北田 あみ
- ・ぼくは時間どろぼうの役をやりました。悪い感じを出さないといけないので大変でした。本番はまわりのみんなと合わせることができたのでよかったです。えんぎでは先生からアドバイスをもらってよりよくなったと思います。本番はとてもきんちょうしましたが、せいこうできてよかったです。 渡辺 太陽
- ・今日の学芸会は大成功したと思います。最初は動作や声の大きさ、歌をあまりしょうずにできませんでした。本番、動作も歌も完璧でわたしの中で今年の学芸会は120点です。学芸会で、学んだことは、みんなの心が一つになれば、何事も乗り越えられるということが分かりました。 藤本 唯杏
- ・ぼくは、体育館で大きい声を出すのが結構つらかったので、そこをはりきって頑張りました。ほかの役の友達も頑張って演技をしているんだと思い、ぼくも熱心にやりました。学んだことは、時間の大切さを知ったことと、みんなで楽しんだり失敗したり喜んだりした一体感を学ぶことができました。 神田 竜之介

～ 4 年生～

- ・この劇は4年生が考えたオリジナルだったので、成功できるかなと最初は思いました。けれど、みんなで練習しアドバイスを出し合って、最高の演技ができたと思います。普通の劇とは違って、地球を大切にしようや、ごみをあまり出さないというのも伝えられたので、みんながエコに取り組めるといいです。見市 灯
- ・この劇で、「エコ」に取り組んでほしい、もったいないを合言葉にゴミを減らしてもらいたいなどの思いが、見ている人にも伝わったからよかったです。また、みんなの気持ちが一つになり、自分も精一杯自分自身のえんぎができたから、やっていてとても楽しかったです。村仲 美瑛
- ・役になり切るのはちょっと難しかったです。なぜなら役と私あまり似ていないからです。でも一生懸命練習して成果が出たときは嬉しくてなりません。この劇で私はたとえ得意でも練習をしないと上手にはなれないとあらためて思いました。藤村 由羽杏
- ・すごく緊張したけれどとても楽しかったです。自分が演技をしていない時もみんなががんばって役になり切っていてできているなと思いました。友達同士で協力して助け合ってやったからよい劇になったと思います。木村 梨花

～ 5 年生～

- ・今回の学芸会は、とてもよかったですと思います。せりふを大きくはっきりと言えたことと振りをきちんとできたからです。大変だったのは、浴衣の着付けです。帯を締めるの一人では難しかったので、お母さん方に手伝っていただきました。「どうしよう」と、あわてる私達に、お母さん方は、分かりやすく説明してくださいました。とても感謝しています。田中 くるみ
- ・ぼくの小学校の学芸会はこれで終わりです。歌に心をこめて、「いのちの歌」を歌いました。その心が観客にすこしでも伝わるとうれしく思います。長い間歌をうたい、歌が少しくらいは、うまくなったと思います。三週間の練習で親への心が少しかわったと思います。これからはもっと親孝行の気持ちをもって生きていきたいです。秋葉 凌羽

～ 6 年生～

～「風に乗って」を通じて見つけられたこと～

私は、小学校生活最後の年に学芸会をやることに好感をもっていませんでした。それは、2、4年生の学芸会にあまりいい思い出が残っていなかったからです。だから、本番も普通に終わればいぐらいに思っていました。しかし、練習を重ねて劇が形になっていく内に、役になりきって演じることが楽しく感じられるようになっていく自分がありました。それは、「風に乗って」のストーリー展開が、6年生の自分たちの状況に似ていたからだと思います。劇中で風グループとジェットグループのメンバーが互いに助け合いながら共通の夢に向かっていく姿は、まさに小学校6年間の中での苦境を助け合って乗り越えた私たちと同じでした。だからこそ、楽しく演じることができました。矢尾 絵美果

～協力して深め合った学芸会～

ぼくはこの学芸会で互いの改善点などを相談し、教え合って覚えることの大切さを学びました。とくにダンスでは、それぞれがふりつけを考え、みんなとテンポを合わせて心をひとつにすることができました。また、友達の考えてくれた作り方をもとに小道具も自分たちで作りました。天狗のうちわ作りはとても難しく、葉脈まで再現しなければなりません。しかし、教えてくれた友達のためにも頑張らなきゃという緊張感が生まれ、本番では今まで以上に素晴らしい演技をすることができたなと思います。塚本光一